

平成 30 年度 中小企業診断士試験 第 2 次試験
 中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅲ

第 1 問 (配点 20 点)

①	教	育	で	加	工	技	術	力	を	強	化	し	、	金	型	設	計	か	ら
の	全	工	程	で	改	善	に	取	り	組	み	原	価	を	低	減	し	た	。
②	組	合	企	業	と	の	協	力	関	係	を	活	か	し	、	技	術	力	の
向	上	や	共	同	受	注	・	開	発	で	受	注	量	を	拡	大	し	た	。

第 2 問 (配点 20 点)

	問	題	点	は	①	作	業	内	容	は	作	業	者	と	成	形	機	の	待	
機	が	多	く	手	待	ち	の	ム	ダ	が	あ	る	。	②	段	取	り	作	業	
は	金	型	や	材	料	の	移	動	が	多	く	運	搬	の	ム	ダ	が	あ	る	。
改	善	策	は	①	稼	働	中	の	外	段	取	り	化	、	昼	休	み	中	の	
稼	働	で	待	機	を	減	ら	す	。	②	金	型	や	材	料	は	成	形	機	
の	近	く	を	保	管	の	定	位	置	と	し	移	動	を	短	縮	す	る	。	

第 3 問 (配点 20 点)

	問	題	点	は	、	受	注	量	よ	り	生	産	ロ	ッ	ト	サ	イ	ズ	が	
大	き	く	製	品	在	庫	が	過	大	な	こ	と	で	あ	る	。	改	善	案	
は	①	ロ	ッ	ト	サ	イ	ズ	の	基	準	を	段	取	り	時	間	か	ら	受	
注	量	へ	変	更	し	、	必	要	量	以	上	の	在	庫	発	生	を	防	ぐ	。
②	各	製	品	を	週	2	回	以	上	生	産	す	る	た	め	に	小	ロ	ッ	
ト	化	を	図	り	受	注	量	変	動	へ	の	柔	軟	性	を	高	め	る	。	

平成 30 年度 中小企業診断士試験 第 2 次試験
 中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅲ

第 4 問 (配点 20 点)

	①	金	型	の	識	別	番	号	を	社	内	統	一	し	保	管	場	所	と
対	応	づ	け	る	。	形	式	知	と	し	て	一	元	管	理	し	、	作	業
指	示	に	加	え	誰	で	も	金	型	を	探	せ	る	よ	う	に	す	る	。
②	段	取	り	作	業	の	標	準	時	間	を	整	備	し	負	荷	計	画	や
日	程	計	画	に	反	映	す	る	。	ム	リ	や	ム	ダ	の	な	い	計	画
を	作	り	、	作	業	者	と	成	形	機	の	稼	働	率	を	高	め	る	。

第 5 問 (配点 20 点)

	①	C	社	の	教	育	体	制	や	技	術	力	を	活	か	し	、	研	究
開	発	を	継	続	し	て	顧	客	の	コ	ス	ト	削	減	に	寄	与	す	る
な	ど	、	競	争	優	位	性	を	高	め	新	規	受	注	を	増	や	す	。
②	組	合	企	業	と	の	協	力	関	係	を	活	か	し	、	経	営	資	源
を	統	合	し	共	同	で	の	新	規	事	業	開	発	に	取	り	組	み	、
技	術	を	組	み	合	わ	せ	た	製	品	で	の	発	展	を	目	指	す	。